

## 当市におけるいじめ問題の現状について

## 当市におけるいじめ問題の現状

## 1 当市におけるいじめ認知件数（1000人当り）

校種等	小学校			中学校		
	当市	本県	全国	当市	本県	全国
H27	5.7	10.1	23.2	10.2	13.7	17.1
H28	64.6	59.9	36.6	14.2	32.7	20.8
H29	114.6	95.8	49.1	28.5	35.3	24.0
H30	108.0	97.1	66.0	33.2	42.0	29.8
R1	98.3	84.0	75.8	27.8	41.0	32.8
R2	87.9	69.0	66.5	20.7	31.2	24.9
前年度比	-10.4	-15.0	-9.3	-7.1	-9.8	-7.9

いじめの認知件数は近年、減少傾向にある。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活環境が変化し、児童生徒の間の物理的な距離が広がったことに加え、偏見や差別が起きないよう学校において正しい知識や理解を促したこと、そして、これまで以上に児童生徒に目を配り指導・支援してきた現れと考えられる。

## 2 令和2年度 当市における学年別の認知件数（1000人当り）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
小学校	61.1	106.8	96.2	101.8	105.5	56.2	87.9
中学校	33.8	18.6	9.8				20.7

- ・ 全国的に、令和元年度は、全学年で前年度より増加していたが、令和2年度は全学年で減少している。
- ・ 当市は令和2年度、小学校2年生と中学校2年生で増加が見られ、その他の学年は減少している。

### 3 いじめの解消率

	当市	本県	全国
H27	95.6%	94.7%	88.7%
H28	96.0%	96.1%	90.6%
H29	76.0%	80.6%	85.8%
H30	84.7%	83.8%	84.3%
R1	86.6%	84.6%	83.2%
R2	77.0%	79.3%	77.4%

解消率が70%台に減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は4月からGW明けまで一斉休業となり、加えて教育課程の再編が行われ、授業の行い方や学校行事の縮小や中止など、学校運営に大きな動きがあった年でもある。例年、夏休み明けに現れる児童生徒の不安定な行動も、9月、10月、11月にずれ込む傾向もみられた。よって、いじめの認知も比率としては、例年よりも3学期に多く発生し、年度末の報告時期に3か月を経過していなかったことから、解消とはせず対応中と回答する事案が多かったためと考えられる。

### 4 令和2年度 いじめの態様（多い順）

- ① 冷やかし、からかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」（小・中）
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたりする」（小・中）
- ③ ・仲間はずれ、集団による無視をされる」（小）  
・金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする」（中）

### 5 令和2年度 いじめ発見のきっかけ

#### 小学校

	当市	全国
①	アンケート調査 55.1%	アンケート調査 59.0%
②	本人からの訴え 17.8%	本人からの訴え 15.6%
③	本人の保護者 10.9%	学級担任が発見 9.8%

#### 中学校

	当市	全国
①	本人からの訴え 31.0%	アンケート調査 38.0%
②	アンケート調査 25.9%	本人からの訴え 26.4%
③	本人の保護者 19.0%	本人の保護者 12.8%

### 6 いじめの発見について

- ・ 各学校において独自のアンケート調査を学期に1回以上実施
- ・ 教育相談や個別の聴き取り
- ・ 教職員の児童生徒観察
- ・ 児童生徒との会話や生活記録ノートからの情報収集
- ・ 保護者や地域住民からの情報収集